

国語 小学校 2年

単元名 はっぴょうしよう
「あったらいいな、こんなもの」
光村図書「こくご 二上」

単元の流れ（全12時間）

【第1次】＜学習活動の見通しを持ち、話題を決める＞

- ◇第1時 あったらいいなと思うものを話し合う。
・どんなもので、どんなことをしたいか話し合う。
- ◇第2時 考えたことを絵と文でノートに書く。
- ◇第3時 ペアで話し合っ、考えたことを深めたり、くわしくしたりする。

「活用」の力育成のために
児童が自由に発想し、くわしく想像できるように時間を十分取る。

【第2次】＜話す順序を考えて、発表の練習をする＞

- ◇第4時 発表例（教師示範）を聞いて、順序や話し方について考える。
・教科書のメモ例をもとにした話を聞き、順序や話し方について気が付いたこと話し合う。（本時）
- ◇第5時 内容と順序を考えて発表メモを書く。
・教科書の例を参考にメモを書く。
- ◇第6・7時 ものの絵をかき、ペアで発表の仕方を相談する。
・互いに話したり、聞いたりしながら、話し方について気が付いたことをメモに書き入れる。
- ◇第8時 グループで発表の練習をする。

「活用」の力育成のために

示範例と教科書を結びつけてメモの書き方を理解させ、実際の発表に活用できるメモを作らせる。

【第3次】＜話し方・聞き方に気を付けて発表会を開く＞

- ◇第9・10・11時 発表会を開き、話したり尋ねたりする。
・一人ずつ全体で発表する。
・質問をしたり、感想を話し合ったりして、交流する。
- ◇第12時 単元の学習をまとめ、評価問題に取り組む。
・学習を振り返って、できるようになったことや、感じたことなどを交流する。
・評価問題に取り組む。

評価問題

単元目標

- 自分が考えたものを相手に分かるように、順序を考えて話す。
- 大事なことを落とさないように聞き、感想を述べたり、質問をしたりする。

単元構成の意図

想像した“物”を相手に分かるように説明したり、大事なことを落とさないように聞く力を身に付けたりすることをねらいとした単元である。

まず、話題を決め、内容を膨らませる活動として、ペア学習や書くことに十分時間を取る。第2次では、発表メモの書き方を丁寧に指導し、グループ学習の中で必要な個別指導を行うことで、自信を持って発表できるようにする。第3次では、質問の仕方や感想の話し方についての指導を行い、充実した交流を通して、話す・聞く力が身に付けられるようにする。

声の大きさや速さ、視線の向け方、絵の使い方などグループ練習の段階で具体的に指導し、苦手な児童には繰り返し練習させ、自信を持って発表できるようにする。

「活用」の力を育てるポイント

身の回りの事物について、相手に伝わるように説明することは、話すことの基礎・基本として重要な指導事項である。話す内容を整理してメモを書いたり、声の出し方などを意識して話す練習をする時間を十分取り、具体的で丁寧な指導を行うことが必要である。